

仮定法で話す・書く (基礎)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 型を借りて、自分の「もしも」を英語で言える・書ける

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

If I had one whole day with no classes and no homework, I would sleep until noon.

授業も宿題もない丸一日があったら、昼まで寝るのに。

I wish I could sleep until noon every Sunday.

毎週日曜、昼まで寝られたらなあ。

型で書く 型で書く— _____ だけ自分のことばに 思考・判断・表現

前半のことば例: more time / more money / a dog / wings / sing well / cook。後半の例: be happy / sleep more / buy a new bike。
型のほかの部分は変えなくてよい。

(1) If I had _____, I would _____. 持っていたら→するのに

(2) If I could _____, I would _____. できたら→するのに

(3) I wish I could _____. できたらいいのになあ

ペアで話す ペアで話す—1問ずつ交代

答え方の型: I would _____. 理由が言えたら because _____ を足す (むずかしければ無理しない)。

(1) What would you do if you had a million yen?

百万円あったら何をする?

(2) What do you wish you could do?

できたらいいのに、と思うことは?

あいづち・返しの型: Sounds nice! Me too. Really?

仮定法で話す・書く (基礎) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 3文つなげて「もしも」の自己紹介 思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけでパラグラフになる。最後に、ペアの相手の「もしも」 (Q1の答え) を1文で紹介: ____ would ____ if he/she had _____. (he/she の文に直すのがポイント)

評価 先生はここを見ます (加点式)

型のとおりに3文書けている (動詞の形が正しい)	+5点
____に自分のことばが入っている	+3点
ペアの相手の紹介が1文ある (he/she の文)	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身进行评估します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ